

課題 6 . 国際母子保健医療活動

活動項目	活動項目別の実績(概要)
実施活動	1. ヤング・リーダーズ・プログラム (名古屋大学大学院医学系研究科・医療行政修士コース) 平成17年6月14日(火)~6月17日(金) 研修生7名 2. JICA研修「アフリカ地域母子保健行政」研修 平成17年9月14日(水)~10月23日(日) 研修生11名

教育研修:

1 ヤング・リーダーズ・プログラム

対象者(研修生)	名大大学院医学系研究科博士課程医科学専攻医療行政コースの留学生7名
研修内容	当センターの診療科(泌尿器科、心療科、小児外科、整形外科、アレルギー科)について。日本の小児保健、保健師の活動、大府養護学校との交流

2 「平成17年度アフリカ地域母子保健行政」

実施期間	平成17年9月14日(水)から10月23日(日)
対象者(研修生)	ナイジェリア3名、タンザニア7名、ジンバブエ1名 計11名
研修内容	<p>国際協力事業団中部国際センターの地域母子保健教育コースを受け、当センターはプログラム立案・研修評価等技術協力、会場設営、連絡調整等をしている。平成13年度から実施し、今年度第5回目となる。</p> <p>研修カリキュラムの基本的コンセプト：日本の最先端技術、現在の保健行政システムの紹介のみならず、日本が短期間に母子保健指標を改善してきた歴史・その要因・プロセスを紹介、指導することに重点をおく。</p> <p>プロジェクトサイクルマネジメントの基礎的概要、ジョブレポート発表会 基礎講義</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の衛生行政とその歴史、日本の医療制度・世界の公衆衛生の流れ リプロダクティブヘルスと開発 <p>母子保健</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健所と市町村保健センターの役割・母子保健と統計学 周産期保健(周産期ネットワークシステム、日本の助産院の役割、地域産婦人科医の役割、母子保健と母子健康手帳、日本におけるエイズの状況、母子保健に関わる国際協力の実際) 小児保健(新生児の医療、乳児健診の方法と健診マニュアル、小児保健における保健師の役割、口腔衛生と小児保健、日本における小児歯科、予防接種の歴史と背景、小児の感染症、日本の小児保健、養護学校見学) <p>環境衛生・食品衛生、上下水道の果たす役割、感染症サーベイランス 学校保健・日本の学校保健制度とその歴史、学校検診システム、学校医について 給食の役割とその歴史、学校心臓検診、学校給食の現場</p> <p>アクションプランの作成・発表 スケジュール詳細は別紙</p>

平成 17 年度アフリカ地域保健母子保健コース日程

		研修時間	研修課題	講師所属機関
9月4日	日		来日	
9月5日	月		JICAブリーフィング	
9月6日	火		名古屋移動	
9月7日	水		開講式・オリエンテーション	
9月8日	木		日本語・紹介講義(夕方)	JICE
9月9日	金		日本語・健康診断・紹介講義(夕方)	JICE
9月10日	土		休日	
9月11日	日		休日	
9月12日	月	9:30 ~ 12:30	Project Cycle Management	国際協力機構
		14:00 ~ 17:00	Project Cycle Management	国際協力機構
9月13日	火	9:30 ~ 12:30	Project Cycle Management	国際協力機構
		14:00 ~ 17:00	Project Cycle Management	国際協力機構
9月14日	水		移動	
		13:00 ~ 16:00	オリエンテーション及びセンター見学	あいち小児保健医療総合センター
9月15日	木	9:30 ~ 12:00	母子保健と統計学	名古屋大学大学院
		13:30 ~ 16:00	小児保健における保健師の役割	あいち小児保健医療総合センター他
9月16日	金	10:00 ~ 17:00	ジョブレポート発表会	あいち小児保健医療総合センター他
9月17日	土		休日	
9月18日	日		休日	
9月19日	月		休日	
9月20日	火	9:30 ~ 12:00	世界の公衆衛生の流れ/リプロダクティブヘルスと開発	名古屋大学大学院
		14:00 ~ 16:00	エイズ対策、HIV感染症治療の現状と展望	名古屋医療センター
9月21日	水	9:30 ~ 12:00	日本の衛生行政とその歴史	金城学院大学
		13:30 ~ 16:00	地域組織的な保健活動	愛知医科大学
9月22日	木	9:30 ~ 12:00	人間の安全保障	国際協力機構
		13:30 ~ 16:00	日本の医療保険制度	金城学院大学
9月23日	金		休日	
9月24日	土		休日	
9月25日	日		移動(午前)	
9月26日	月	9:30 ~ 12:00	周産期ネットワークシステム	名古屋第一日赤病院
		13:00 ~ 16:00	新生児の医療	名古屋第一日赤病院
9月27日	火	9:30 ~ 12:00	日本の小児保健	あいち小児保健医療総合センター
		13:30 ~ 15:30	障害者教育	愛知県立大府養護学校
9月28日	水	9:30 ~ 12:00	保健所や市町村保健センターの役割	半田保健所
		13:00 ~ 16:00	小児健診(3歳児健診)	阿久比町保健センター
9月29日	木	10:00 ~ 15:30	地域の産婦人科医の役割	ふたばクリニック
9月30日	金	午前	移動	
		14:00 ~ 17:00	リプロダクティブヘルスから見たジェンダー	家族計画国際協力財団
10月1日	土		研修旅行(東京)	
10月2日	日		研修旅行(東京)	
10月3日	月	9:00 ~ 16:00	母子保健、家族計画及び国際協力の紹介	家族計画国際協力財団
10月4日	火	9:30 ~ 12:00	感染症予防(マラリア対策など)	国立国際医療センター
		午後	移動	
10月5日	水	9:30 ~ 12:00	小児心療	あいち小児保健医療総合センター
		13:30 ~ 16:00	小児の感染症	あいち小児保健医療総合センター
10月6日	木	9:30 ~ 12:00	日本の助産院の役割	愛知県助産師会
		14:00 ~ 16:00	助産院の見学	愛知県助産師会
10月7日	金	9:30 ~ 12:00	感染症サーベランス	愛知県衛生研究所
		13:30 ~ 16:30	愛知県衛生研究所見学	愛知県衛生研究所
10月8日	土		休日	
10月9日	日		休日	
10月10日	月		休日	

	研修時間	研修課題	講師所属機関
10月11日	火 10:00 ~ 15:30	予防接種の歴史と背景(研修旅行)	三重病院
10月12日	水 9:00 ~ 14:00	母子保健に関わる国際協力の実際(研修旅行)	三重県立志摩病院
10月13日	木 11:00 ~ 14:00	エイズ母子感染予防	三重県立総合医療センター
		移動	
10月14日	金 9:30 ~ 12:00	食品衛生(愛知県食品衛生検査所)	愛知県食品衛生検査所
	14:00 ~ 16:00	上水道,下水道の果たす役割(上下水道見学)	岡崎市
10月15日	土 10:00 ~ 16:00	アクションプラン作成指導	あいち小児保健医療総合センター 三重県立志摩病院
10月16日	日	休日	
10月17日	月 10:00 ~ 11:00	給食の役割とその歴史	愛知県教育委員会
	11:00 ~ 15:00	学校給食の現場(試食と見学)	小牧市立北里小学校
10月18日	火 10:00 ~ 12:00	母子保健と母子手帳	大阪大学
	13:30 ~ 16:00	各国の保健センターの役割(討論)	大阪大学
10月19日	水 9:30 ~ 12:30	日本の学校保健制度とその歴史(養護教諭を含む)	名古屋市立城西小学校
	14:00 ~ 16:30	学校医について	名古屋市学校医会
10月20日	木 9:30 ~ 12:00	口腔衛生と小児保健	愛知県歯科医師会
	13:30 ~ 16:30	歯周病と全身との関係	愛知学院大学
10月21日	金 9:30 ~ 12:00	学校心臓検診	あいち小児保健医療総合センター
		アクションプラン自主作成	
10月22日	土	休日	
10月23日	日 10:30 ~ 16:30	アクションプラン発表会	あいち小児保健医療総合センター 三重県立志摩病院他
	16:30 ~ 19:30	評価会・閉講式・送迎会	
10月24日	月	帰国準備日	
10月25日	火	帰国指定日	

実施活動項目ごとの評価：国際母子保健活動

<p>評価の方法・手段</p>	<p>JICA 研修「平成17年度アフリカ地域母子保健行政コース」について</p> <p>1. 評価指標：JICA Questionnaire（研修目的、カリキュラム構成、実施方法について研修員が記入）による評価</p> <p>2. アクションプラン（研修員が帰国後どのように母子保健活動に取り組んでいくかをまとめた報告書の作成・発表）による評価</p> <p>その他の研修受入れについて</p> <p>海外専門家との人的交流・派遣に関する定量的評価</p>
<p>評価の概要</p>	<p>1. 有用性</p> <p>国際母子保健医療活動では、JICA 研修「アフリカ地域母子保健行政コース」（研修名は変更された）を平成13年度から実施し5年目を迎えた。昨年度の経験を生かし、実施時期、研修内容の検討などを行い開催した。また、今年度は愛知県で国際博覧会が開催されるのに伴い、研修会開始時期を3週間早めて実施した。オリエンテーションで本研修のコンセプトを理解してもらうことが、有意義な研修につながるため、今年度もオリエンテーションを行い開始した。</p> <p>プログラムで、今年度新たに「マラリア予防、エイズ母子感染予防」を追加し、参加国アフリカ諸国の事情を踏まえた内容を充実させた。</p> <p>なお、研修員のニーズに応じるためには、今年度計画したが実施できなかった、思春期のリプロダクティブ・ヘルスについては、来年度の検討課題となった。</p> <p>何を学んで自国でのアクションにつなげるか、その動機付けとなるような内容、また、研修生のニーズをより丁寧に汲み取り研修プログラムに反映させることが大切である。</p> <p>また、「ヤング・リーダーズ・プログラム」7名の研修受入れなどもあり、当センターが小児保健における国内での代表的な機関として知られてきていると思われる。</p> <p>2. 問題点</p> <p>アフリカ地域母子保健行政コースは、独立行政法人国際協力機構中部国際センター（JICA）が行う事業の実施を担当する機関の一つとして実施してきており、国際的な母子保健への貢献という大きな意味がある。</p> <p>当センター全体の外国人利用者への主体的な対応としては、何が必要か、今後検討の必要があるといえる。</p> <p>3. 事業継続に関する意見</p> <p>国際協力事業団中部国際センター（JICA）の実施事業を引き続き受入れ、当センターの小児保健に関する国際的貢献の一つと考える。</p>